

# ナシ但馬1号(なしおとめ)の育成

## 【背景・目的・成果】

但馬地域で栽培されているナシは、9月収穫の二十世紀系品種が8割を越え、品種のバリエーションが多くありません。そこで、北部農技では夏の観光客需要への対応や収穫労力の分散、経営の安定化を図るため、優良な早生品種として県で初めてのナシのオリジナル品種、但馬1号(登録商標名:なしおとめ)を育成、品種登録しました。

## 但馬1号(なしおとめ)これまでの経緯

平成7年:北部農技で吉香(二十世紀の偶発実生と推定)に幸水を受粉、78個体の実生を得て選抜開始  
 ~平成23年:但馬1号を早生の優良品種として選抜  
 平成24年8月23日:消費者食味アンケートを実施、盆過ぎ収穫期品種群のアンケートで最も好評  
 平成25~26年:一般生産者への試食アンケート調査を実施、品種登録・試作希望多数  
 平成27年2月6日:品種登録出願  
 平成28年8月18日:登録商標名を公募、「なしおとめ」と命名  
 平成29年4月12日:県初のナシ育成品種「但馬1号」として品種登録

## 但馬1号(なしおとめ)の品種特性

但馬1号の果実



但馬1号の原木

表1 但馬1号の果実特性(H24)

品種名	収穫始 (月/日)	収穫終 (月/日)	果実重 (g)	糖度 (Brix)
但馬1号	8月22日	8月27日	405.2	12.0
八雲	8月7日	8月13日	306.6	10.7
早生二十世紀	8月20日	8月22日	311.0	11.0
幸水	8月27日		363.3	12.0
二十世紀	9月10日	9月24日	356.8	11.3

## 但馬1号の主な品種特性

- ・ 収穫時期:8月中~下旬
- ・ 果実重:約400g、幸水より大きく日持ちもよい
- ・ 食味:糖度12度、二十世紀より高く、幸水と同程度で良食味
- ・ 外観:二十世紀と同じ青ナシ、ややアザの発生が多い
- ・ その他:果芯が小さく可食部が多い、黒斑病に抵抗性あり

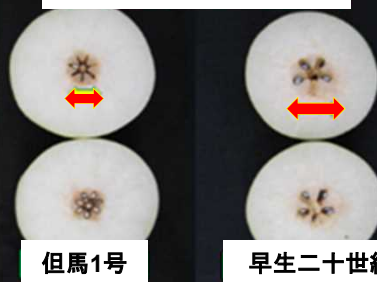
但馬1号は幸水より大きい



但馬1号

幸水

但馬1号は芯が小さい



但馬1号

早生二十世紀

## 【技術の活用】

- ・但馬地域のナシ栽培面積(約30ha)の約10%が但馬1号となることを目指します。
- ・早生品種(但馬1号)、中生品種(二十世紀)、晩生梨と切れ目の無い出荷体制を構築し、労力分散と販売単価の向上を図ります。
- ・兵庫県梨振興協議会(構成:右図)では、但馬地域のナシの知名度向上を目指し、夏の観光客や高級販売店向けに本品種のPR活動を実施中です。

## 兵庫県梨振興協議会の構成

- |            |       |
|------------|-------|
| 生産者        | 市町    |
| ・香住果樹園芸組合  | ・香美町  |
| ・温泉町果樹園芸組合 | ・新温泉町 |
| ・養父果樹生産組合  | ・豊岡市  |
|            | ・養父市  |

JAたじま

兵庫県